

映画制作と地域活性化 ～浜村温泉湯けむり映画～

鳥取市気高町浜村温泉とことり舎

はじめまして。「浜村温泉湯けむり映画塾」を主宰する、ことり舎の荒尾と申します。

浜村温泉は鳥取市の西部・気高町にあります。日本海に面し、民謡「貝殻節」の発祥の地といわれ、小泉八雲が新婚旅行で訪れたこの温泉地は、最盛期には十

特集

6

鳥取県



ことり舎
荒尾 極

数軒の温泉宿があり、関西を始め日本全国から観光客が訪れたと言います。しかし今はその面影も全くなく温泉宿も二軒を数えるだけになり、一地方のひっそりとした温泉街になつてしまいました。

この浜村温泉で、二十年近く前に閉じたお土産屋を改装し、アトリエ・ギャラリースペースとして開いたのが「ことり舎」になります。

私は、父親の実家が気高町の出身で、いわゆる「孫ターン」になります。大阪芸術大学の大学院で映画制作の研究をしていた私は、時折帰省していた気高町浜村温泉の地が、温泉街の風情はもろろん、日本海やそれに沿う砂丘、中国山地の山並み、因幡の白兔伝説、夏の緑の濃さと冬の雪景色の四季のコントラストなど、映画制作に於いてそのロケーションの良さを感じていました。そこで2011年の結婚を機に、「鳥取で、鳥取らしい、



現在のことり舎



改修前のことり舎

鳥取でしか撮れない映画」を目指し、気高町で映画制作の拠点を作るべく移住を果たしました。

「浜村温泉湯けむり映画塾」とは？

「浜村温泉湯けむり映画塾」は今年5年目を迎えます。きっかけは鳥取県がすすめるアーティスト・イン・レジデンスで移住者を招こうという取り組みの一団体として鳥取県から声を掛けていただいたものです。アーティスト・イン・レジデンスとは、その土地とは関係のないアーティストがその土地に滞在し地域との交流を図りながらアート作品を制作・発表をするものです。

映画制作は撮影でロケ地を訪れると、数日間はその町に滞在することになります。それもスタッフ・キャストなど人数も数十人単位になることも珍しくありません。造形芸術や

音楽、現代アートなどさまざまジャンルのアートがあります。制作過程に於いて携わる人の規模が最も大きいのは映画であると言っても過言ではないかも知れません。また映画制作は撮影日



貝殻節の撮影風景(2014年)

温泉から広がる 地域の活性化

ただではあり
ません。撮影
の前に、撮影
場所を決め
たり、ストー
リーを作るた
めに取材も行
わなければな
りません。必
要があれば撮
影に向けて、
現地の方々に
撮影隊の移動
やロケ場所の
確保、エキス
トラ出演のお
願いもありま
す。映画制作
というのはそ
の土地との密
着度を必要と
するものなの
です。また出
来た映画は、
作品として残
り、その地域
のPR素材にもなります。



撮影風景 赤い上着が映画塾塾長
中島貞夫監督(2015年)



撮影風景(2015年)

た。映画塾は当初は県外のセミプロ的な
映画制作者がメインで参加するものが多
く、地元の方々に活動内容が伝わってな
い部分も沢山ありました。そのような中
で、私自身が鳥取に来た原点に還り「鳥
取で、鳥取らしい、鳥取でしか撮れない
映画」を映画塾の最終目標とし、地域の
方々が参加できるような仕組みづくりを
考えるようになりました。

総合芸術としての映画と地域活性化

映画は総合芸術と言われます。シナリ
オ、カメラ、録音、音楽、衣装、キャ
スト、大道具、小道具、メイク・・・
はたまた作品によっては方言指導や歴史
考証、撮影隊への炊き出し(ケータリン
グ)なども重要なスタッフの一員です。
映画制作というと、参加するには高い
ハードルを感じてしまう人が多いよう
です。しかしながらよくよくスタッフ構成
を見ると、身の回りの仕事や趣味の延長
線上のものばかりです。

実際に映画塾も回を重ねる毎に、「映
画は総合芸術であり誰でも活躍の場があ
る」ことを地域の皆さんに説明すること
により、徐々に映画塾や映画制作に興味
を持つていただいていると実感します。

昨年度の作品では、実際の地元のお寺
のご住職にご住職役でご出演いただいた
り、芸者役に必要なカツラを昔浜村温泉
で芸者だった方からお借りしたり、高い

位置から撮影をするために地元の電気業
者さんに高所作業車を出していただいた
りと、直接的・間接的にご協力をいた
だきました。何より撮影隊を地区で歓待
していただけることが多くなり、地元
の方々からロケ地のアドバイスや、スト
リーのアイデアを頂き「次はうちの地
区で撮影して」というお声までいただ
けるようになりました。

浜村温泉はかつての賑わいから遠く離
れてしまいました。確かにヒトが減り、
仕事が減り、空き家や空き店舗が目立つ
温泉街になってしまいました。しかし映
画塾を通じ(映画制作を通じ)、さまざ
まなスキルを持つ地域の方々が居ること
を知りました。映画制作は人材とヒトの
つながりが大きな武器です。

映画制作そのものは直接お金儲けにつ
ながるものではありません。ですが映画
制作は、年齢や
職種、老若男女
関係なく一人
一人に順番があ
り、輝きを持た
せてくれるもの
です。それがひ
いては地域の元
気・活性化の源
になると信じ、
映画塾を続けて
いきたいと思
います。



地元の方々のそうめんでのおもてなし(2017年)